

日本工業大学産学連携方針

日本工業大学は、昭和 42(1967)年の設立以来、建学の精神「4. 産学協同の理念に基づき、現実社会との連携を密にし、その発展に寄与する」を具現すべく工学理論とともに実験・実習等、ものづくりの現場に即した実践的な工学技術教育を推進してきました。また、研究活動においても、基礎研究のみならず社会が直面する諸課題に応えるべく、応用研究にも意を用いています。

今日、大学は教育・研究に加え社会貢献も重要な使命となっています。日本工業大学はこれからも地域を中心とする実社会と連携し、開かれた大学として次に掲げる方針のもと、産学連携に積極的に取り組みます。

- 1 本学設立以来の「実工学」の伝統と実績をもとに、とりわけ地域の課題解決に向け本学が有する工学技術、知識を、産業界をはじめとする実社会に還元し、地域活性化を推進します。
- 2 ものづくりの現場に即した実践的な人材養成を推進します。
- 3 産業界から研究員、研究生等を積極的に受入れ、共同研究、受託研究を推進します。
- 4 技術講習会、講演会、セミナー等を開催し、技術、知識の敷衍を推進します。
- 5 本学が開発した技術の実用化を推進します。

平成 28 年 8 月
日本工業大学